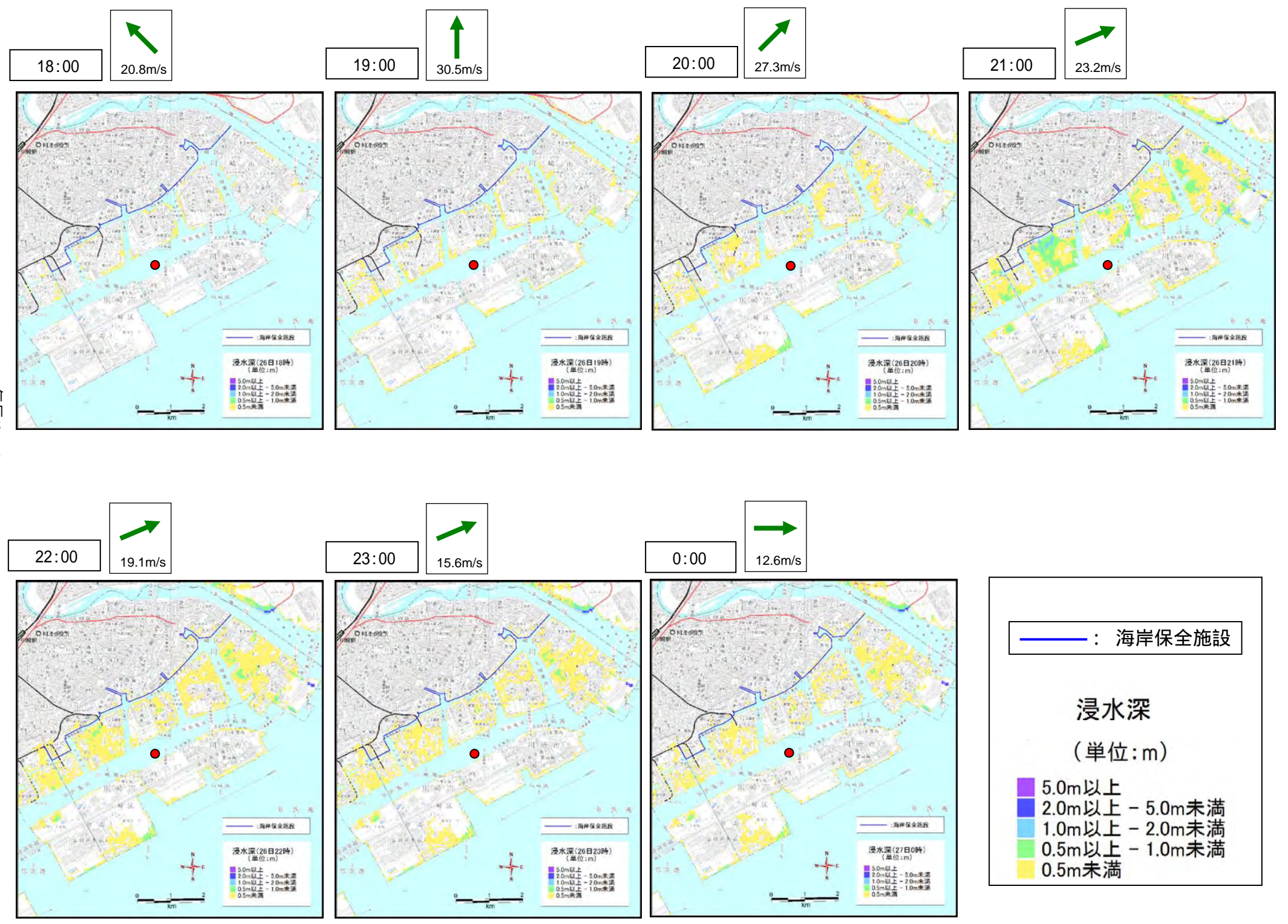
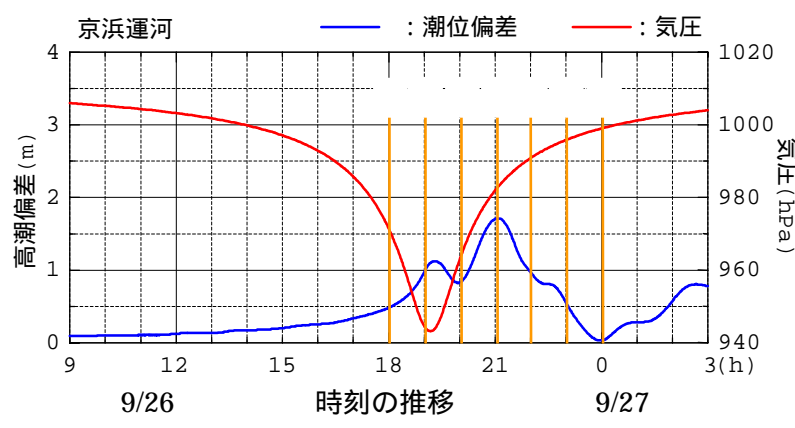
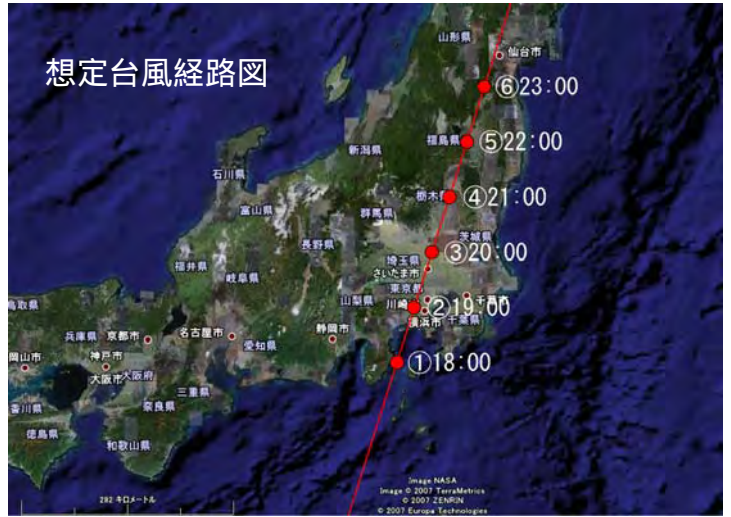


## 川崎港における各シナリオの浸水想定結果の概要

川崎港：シナリオ A 海岸保全施設等の機能は正常、伊勢湾台風級、温暖化による水位上昇考慮しない

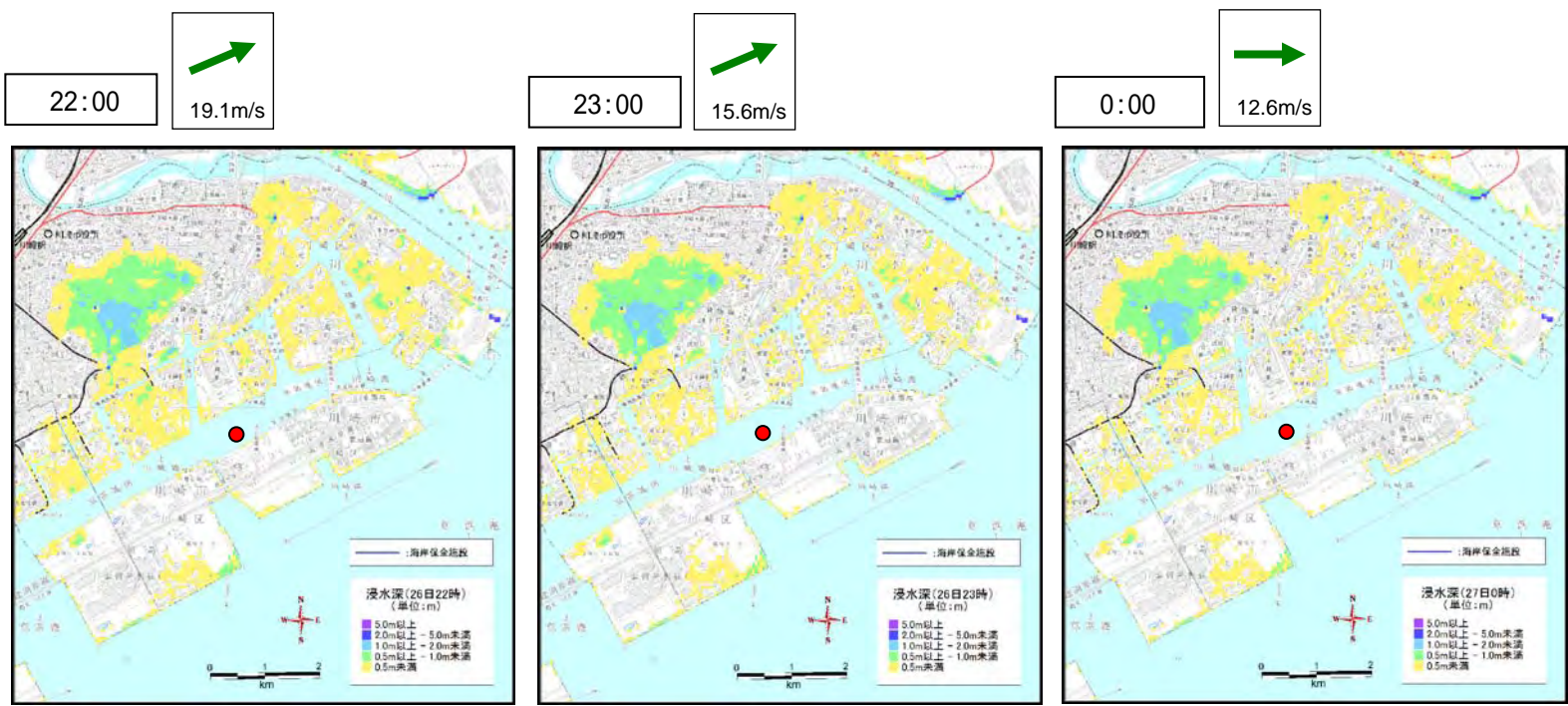
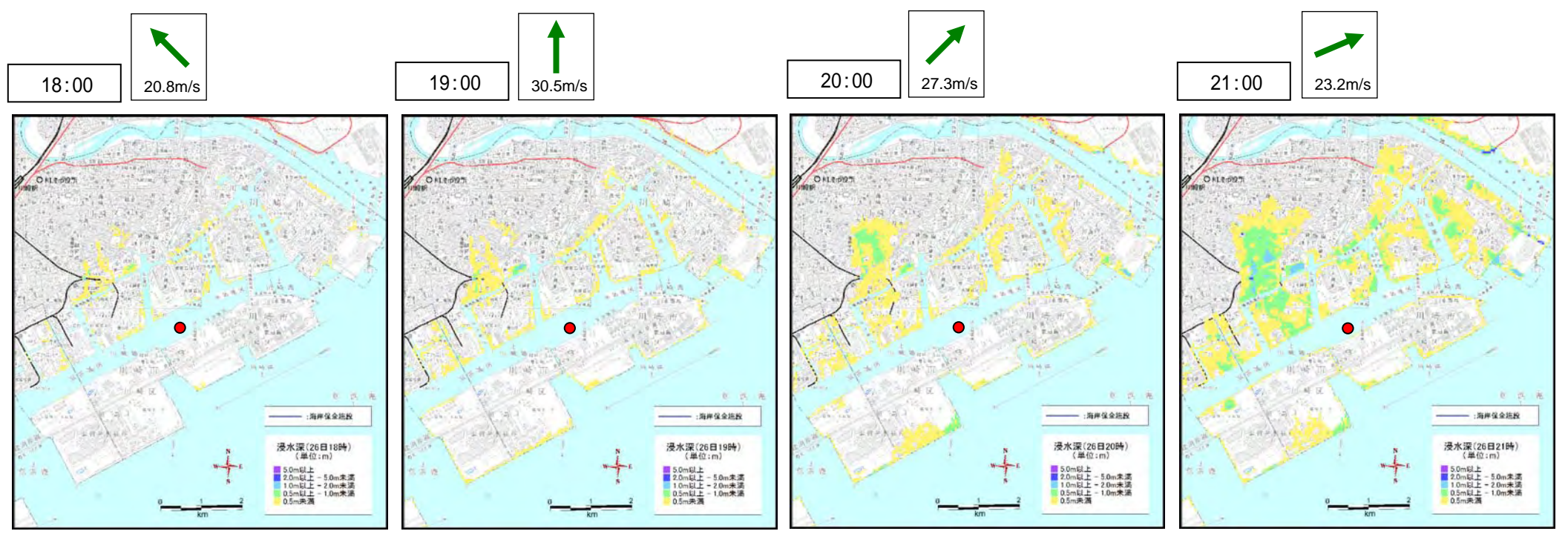
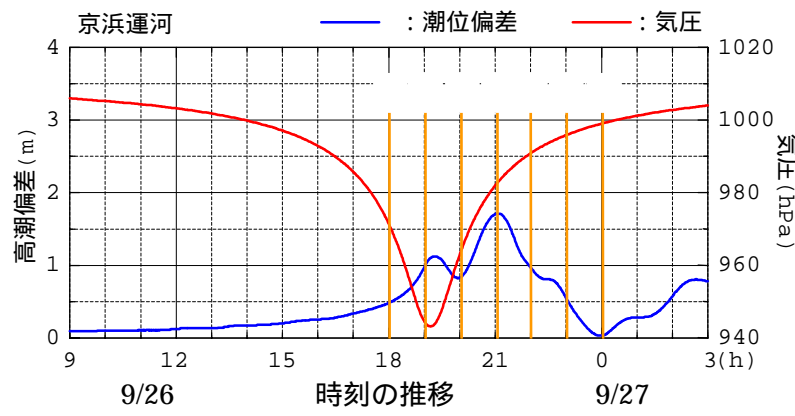
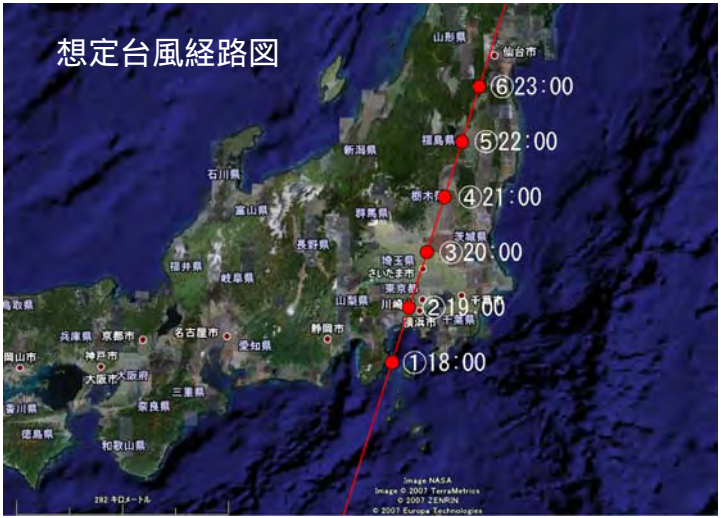


浸水域の経時変化

- ・ 浸水図中に矢印 (→) で示す風向・風速は、川崎港京浜運河における推算値である (浸水図中の 印)。
- ・ 浸水図 は、台風通過後に偏差が最低となる時の浸水状況を示すものである。

注1: 海岸保全施設については海岸省庁(水産庁、農林水産省農村振興局、国土交通省河川局)及び海岸管理者の協力を得て、平成20年度末の天端高及び耐震化状況を設定。  
 注2: 本想定は、東京湾沿岸部分からの越波・越流等による浸水想定結果を示したものであり、河川からの氾濫浸水及び排水については考慮していない。  
 注3: 本想定は、東京湾沿岸全体で影響人口が最も大きくなると推測される台風コースを設定した場合の最大浸水深を示したものである。地域によっては、台風コースにより、本想定よりも最大浸水深が大きくなる可能性がある。

川崎港：シナリオB 海岸保全施設等が地震で被災、伊勢湾台風級、温暖化による水位上昇考慮しない



— : 海岸保全施設

浸水深 (単位:m)

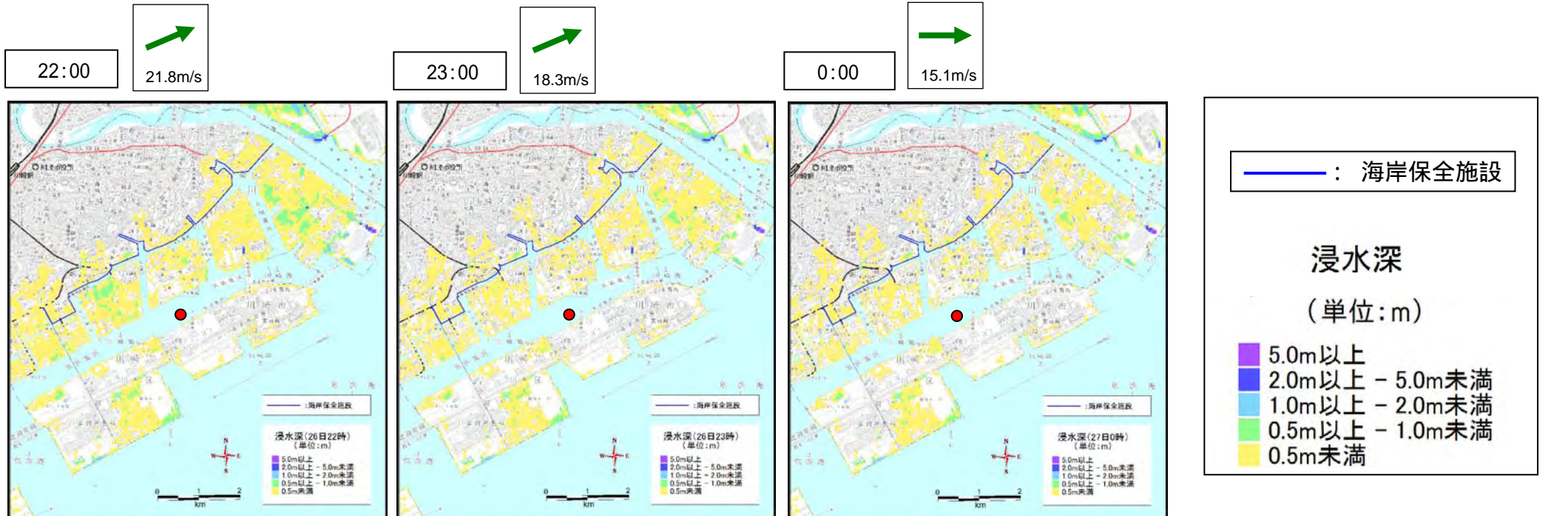
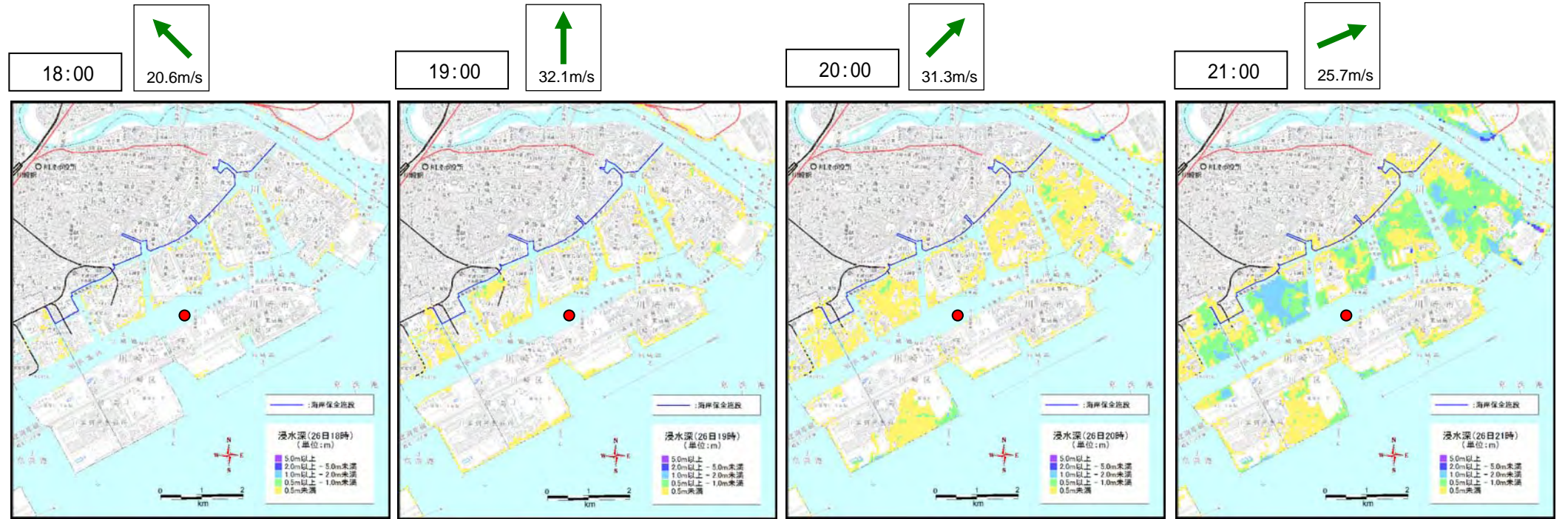
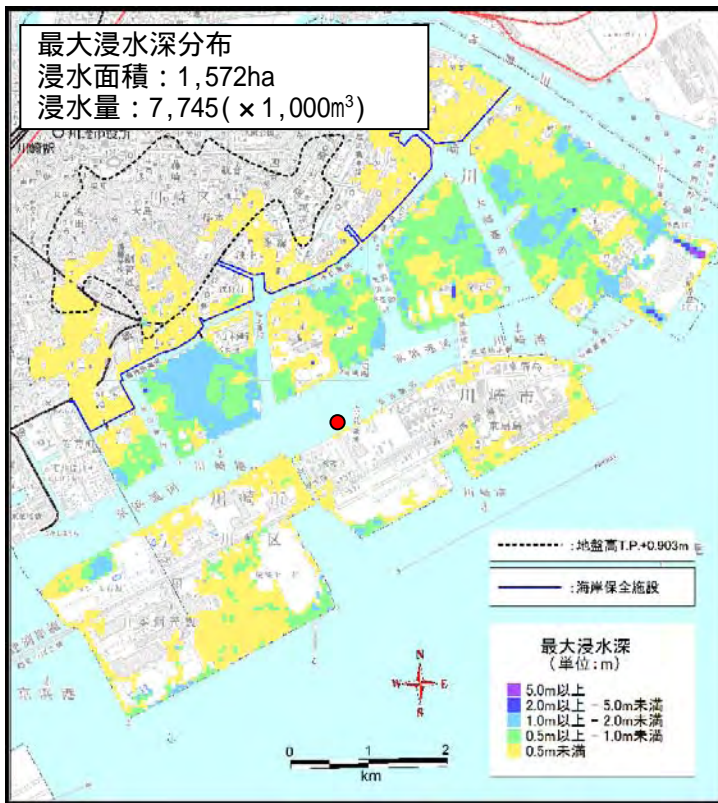
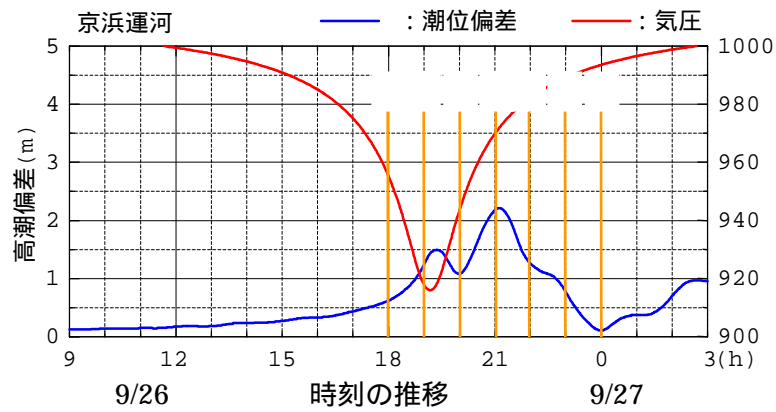
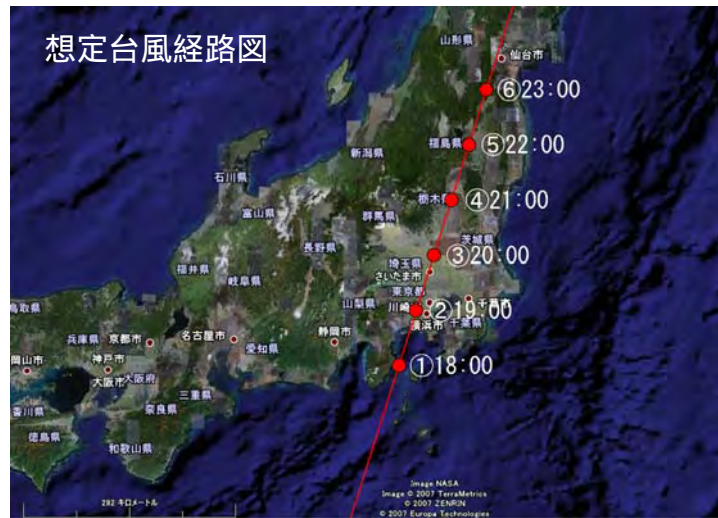
- 5.0m以上
- 2.0m以上 - 5.0m未満
- 1.0m以上 - 2.0m未満
- 0.5m以上 - 1.0m未満
- 0.5m未満

浸水域の経時変化

- ・ 浸水図中に矢印 (→) で示す風向・風速は、川崎港京浜運河における推算値である (浸水図中の 印)。
- ・ 浸水図 は、台風通過後に偏差が最低となる時の浸水状況を示すものである。

注1: 海岸保全施設については海岸省庁(水産庁、農林水産省農村振興局、国土交通省河川局)及び海岸管理者の協力を得て、平成20年度末の天端高及び耐震化状況を設定。  
 注2: 本想定は、東京湾沿岸部分からの越波・越流等による浸水想定結果を示したものであり、河川からの氾濫浸水及び排水については考慮していない。  
 注3: 本想定は、東京湾沿岸全体で影響人口が最も大きくなると推測される台風コースを設定した場合の最大浸水深を示したものである。地域によっては、台風コースにより、本想定よりも最大浸水深が大きくなる可能性がある。

川崎港：シナリオC 海岸保全施設等の機能は正常、室戸台風級、温暖化による水位上昇考慮しない



— : 海岸保全施設

浸水深 (単位:m)

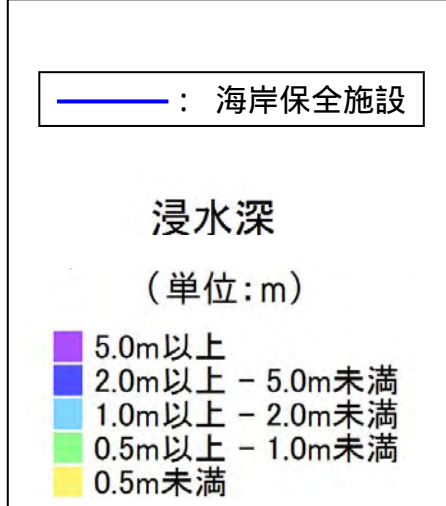
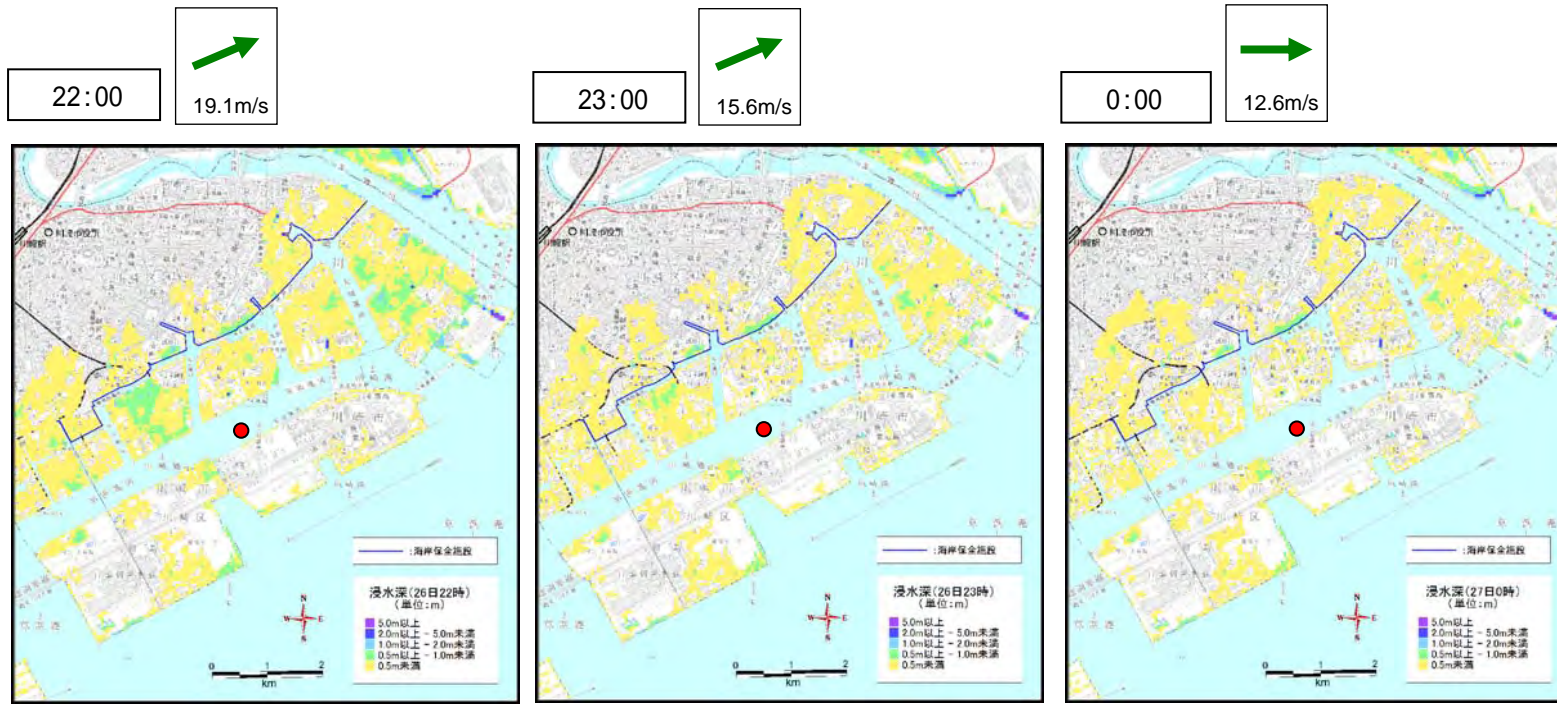
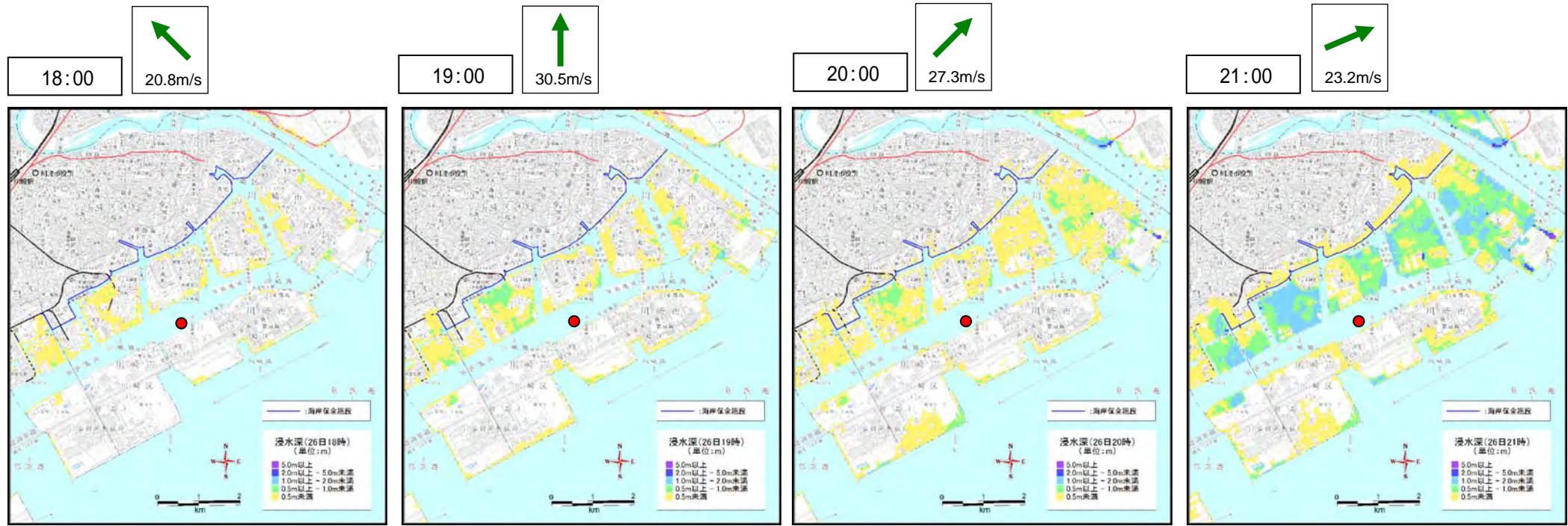
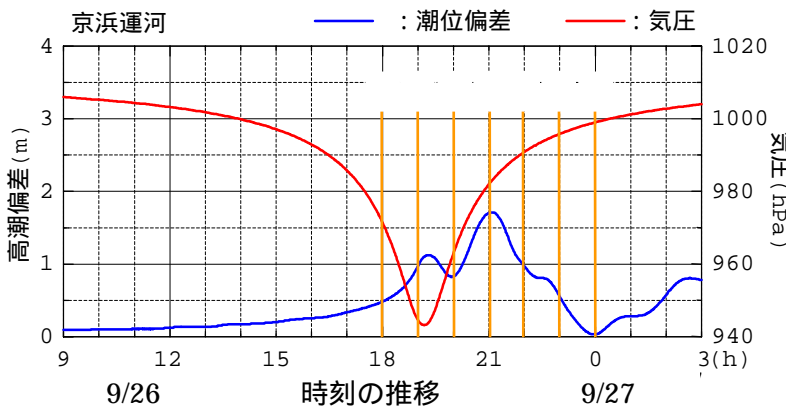
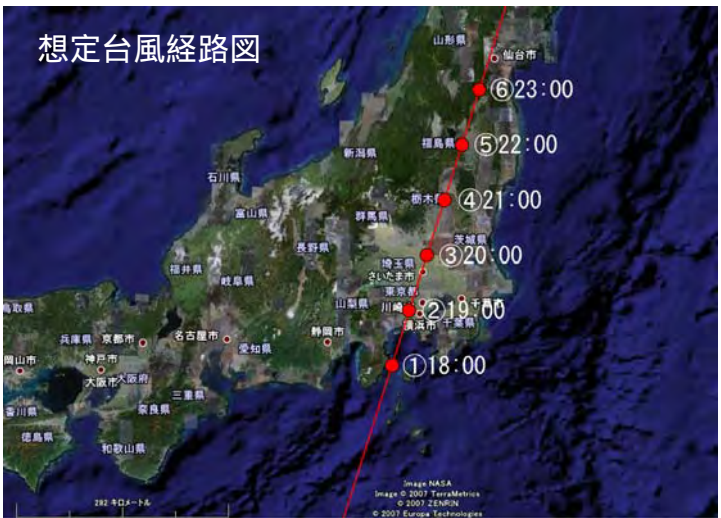
- 5.0m以上
- 2.0m以上 - 5.0m未満
- 1.0m以上 - 2.0m未満
- 0.5m以上 - 1.0m未満
- 0.5m未満

浸水域の経時変化

- ・ 浸水図中に矢印 (→) で示す風向・風速は、川崎港京浜運河における推算値である (浸水図中の 印)。
- ・ 浸水図 は、台風通過後に偏差が最低となる時の浸水状況を示すものである。

注1: 海岸保全施設については海岸省庁(水産庁、農林水産省農村振興局、国土交通省河川局)及び海岸管理者の協力を得て、平成20年度末の天端高及び耐震化状況を設定。  
 注2: 本想定は、東京湾沿岸部分からの越波・越流等による浸水想定結果を示したものであり、河川からの氾濫浸水及び排水については考慮していない。  
 注3: 本想定は、東京湾沿岸全体で影響人口が最も大きくなると推測される台風コースを設定した場合の最大浸水深を示したものである。地域によっては、台風コースにより、本想定よりも最大浸水深が大きくなる可能性がある。

川崎港：シナリオD 海岸保全施設等の機能は正常、伊勢湾台風級、温暖化による水位上昇を考慮 (+0.6m)

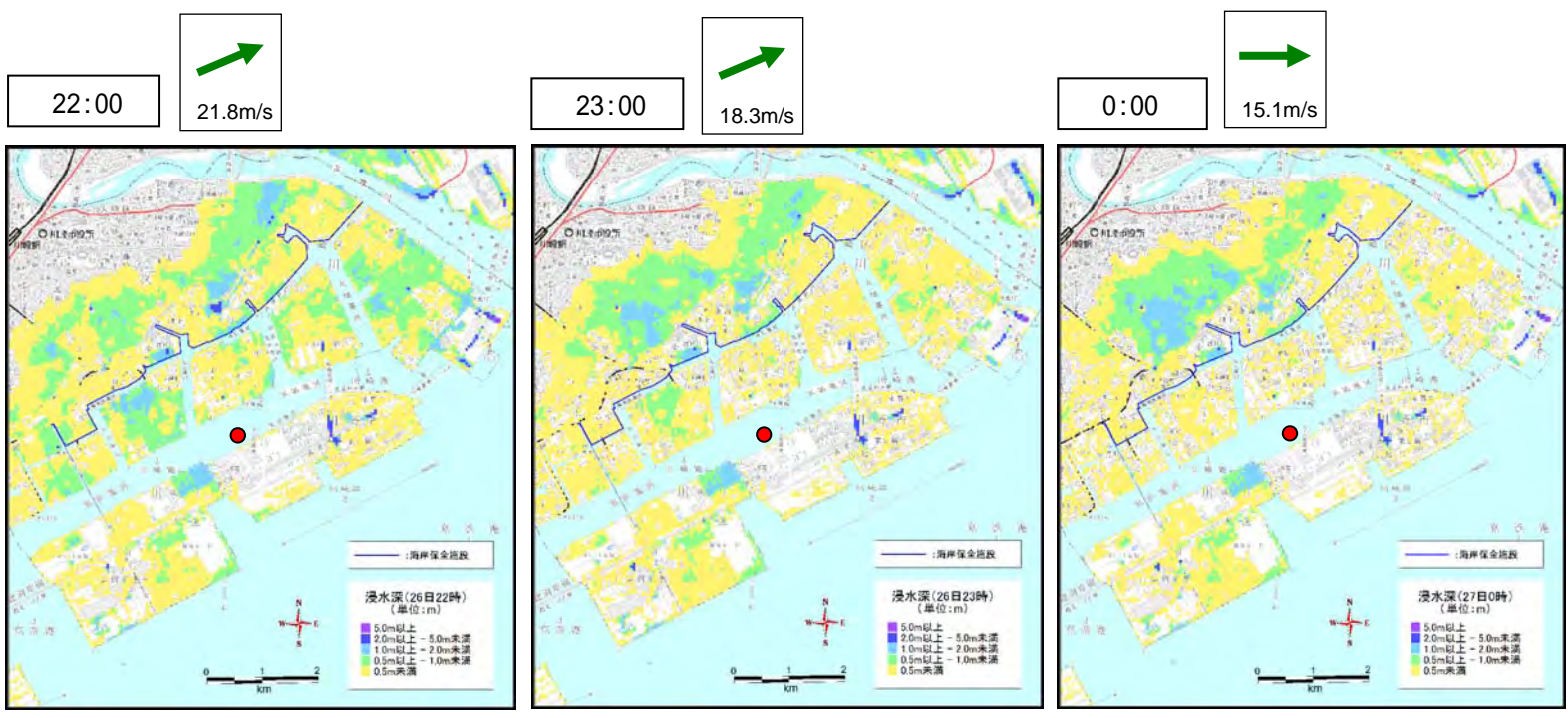
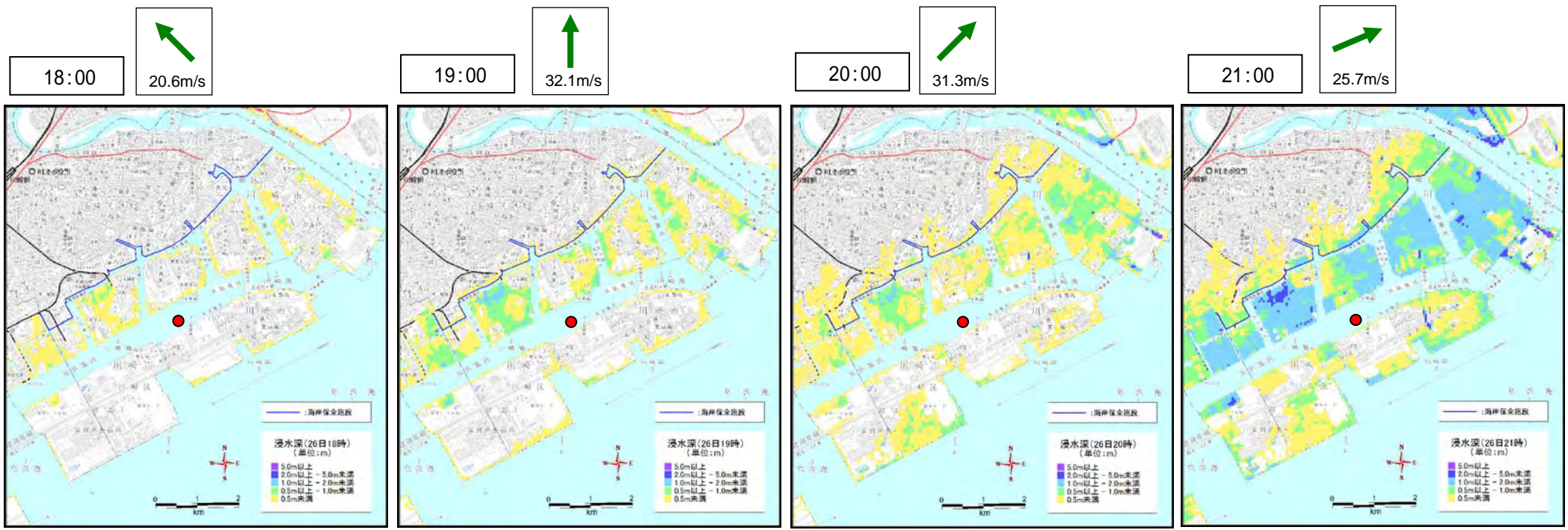
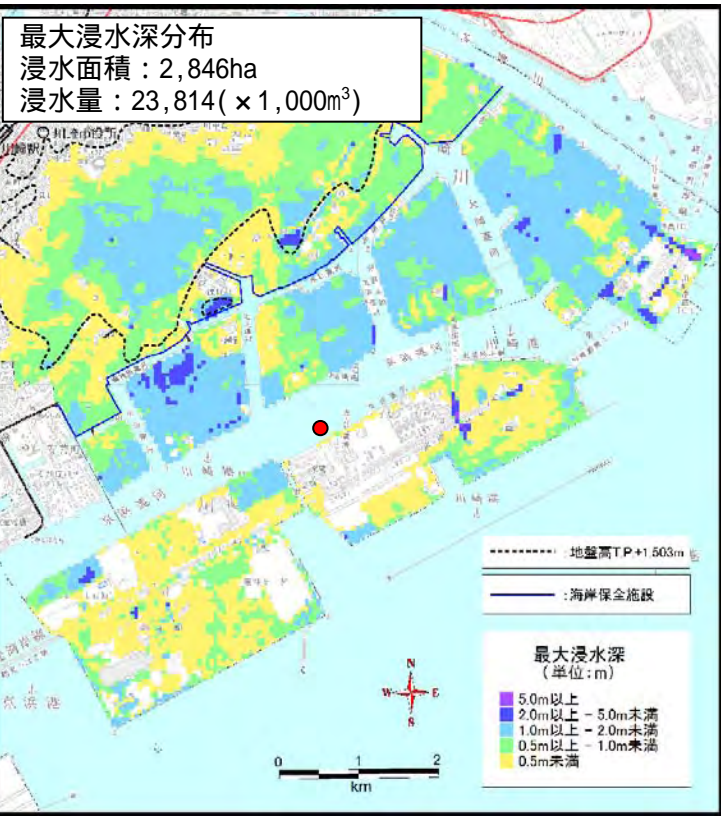
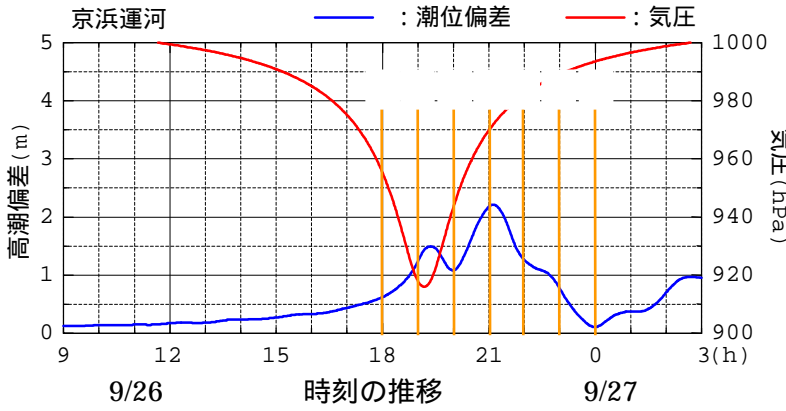
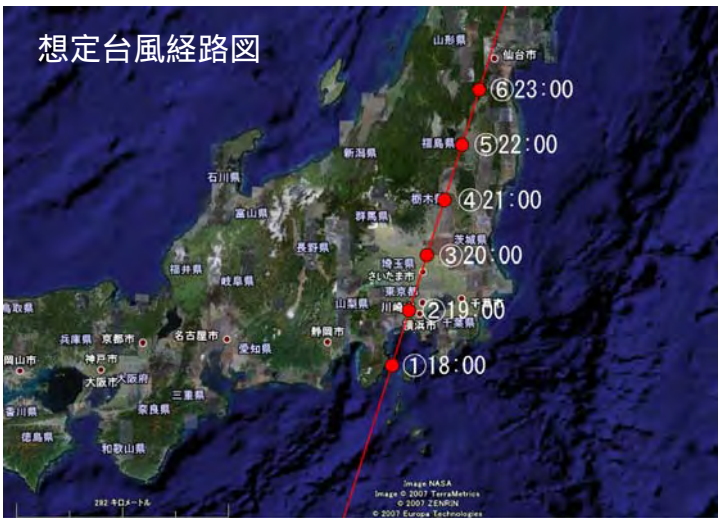


浸水域の経時変化

- ・ 浸水図中に矢印 (→) で示す風向・風速は、川崎港京浜運河における推算値である (浸水図中の 印)。
- ・ 浸水図 は、台風通過後に偏差が最低となる時の浸水状況を示すものである。

注1：海岸保全施設については海岸省庁(水産庁、農林水産省農村振興局、国土交通省河川局)及び海岸管理者の協力を得て、平成20年度末の天端高及び耐震化状況を設定。  
 注2：本想定は、東京湾沿岸部分からの越波・越流等による浸水想定結果を示したものであり、河川からの氾濫浸水及び排水については考慮していない。  
 注3：本想定は、東京湾沿岸全体で影響人口が最も大きくなると推測される台風コースを設定した場合の最大浸水深を示したものである。地域によっては、台風コースにより、本想定よりも最大浸水深が大きくなる可能性がある。

川崎港：シナリオE・シナリオF 室戸台風級、温暖化による水位上昇を考慮 (+0.6m)(海岸保全施設である水門が存在しないため、シナリオE・シナリオFは同一条件)



— : 海岸保全施設

浸水深 (単位:m)

- 5.0m以上
- 2.0m以上 - 5.0m未満
- 1.0m以上 - 2.0m未満
- 0.5m以上 - 1.0m未満
- 0.5m未満

浸水域の経時変化

- ・ 浸水図中に矢印 (→) で示す風向・風速は、川崎港京浜運河における推算値である (浸水図中の 印)。
- ・ 浸水図 は、台風通過後に偏差が最低となる時の浸水状況を示すものである。

注1：海岸保全施設については海岸省庁(水産庁、農林水産省農村振興局、国土交通省河川局)及び海岸管理者の協力を得て、平成20年度末の天端高及び耐震化状況を設定。  
 注2：本想定は、東京湾沿岸部分からの越波・越流等による浸水想定結果を示したものであり、河川からの氾濫浸水及び排水については考慮していない。  
 注3：本想定は、東京湾沿岸全体で影響人口が最も大きくなると推測される台風コースを設定した場合の最大浸水深を示したものである。地域によっては、台風コースにより、本想定よりも最大浸水深が大きくなる可能性がある。